

日本食道学会より

『食道扁平上皮癌に対する免疫チェックポイント阻害薬の使用実態調査』について

➤ 研究（調査）の目的と概略

根治切除不能な進行・再発食道扁平上皮癌に対して、免疫チェックポイント阻害薬であるニボルマブ（オプジーボ）およびペンブロリズマブ（キートルーダ）による治療が行われる様になりましたが、有効な症例は限られており、治療効果を予測する方法の確立が望まれています。また、治療開始後の効果の評価法や、治療内容変更の時期など、不明な点や改善が必要な点もあります。本研究では、本邦における、免疫チェックポイント阻害薬治療の現状を明らかとし、治療成績の向上を目指します。

➤ 研究（調査）の方法

日本食道学会会員の所属施設において、現在までに食道扁平上皮癌に対して免疫チェックポイント阻害薬治療を行った症例のデータを調査し集計します。調査には患者さんの年齢層や性別などの基礎的なデータの他、食道癌に関する情報や検査データ、治療効果、有害事象、治療後の経過などの情報を集めて、その解析を行います。

➤ 研究（調査）の参加施設

日本食道学会会員の所属施設

➤ 調査期間

調査期間（2020年2月1日～2021年3月31日） 研究期間（2021年11月30日～2023年3月31日）

➤ 調査の対象となる患者さんへ

この調査は、2020年2月1日～2021年3月31日の期間に、免疫チェックポイント阻害薬治療が行われた食道扁平上皮癌の患者さんを対象に、カルテから得られた所見や診療経過のデータを集積し解析するものです。調査結果は、個人が特定できないよう匿名化して管理し、個人情報を守ります。

➤ この調査への協力は任意です。

この調査に協力するかどうかは、患者さんの自由な意志で決まります。調査への協力を同意されなくても、患者さんに不利になることは一切ありません。データのご使用をお断りになる場合には直ちに本研究の対象から除外しますので、ご遠慮なくお申し出ください。

➤ お問い合わせ先

この研究は、食道学会研究推進委員会が研究事務局を担当しています。
研究責任者：竹内 裕也（浜松医科大学医学部外科学第二講座）

お問い合わせ先

特定非営利活動法人日本食道学会 事務局
〒130-0012 東京都墨田区太平2-3-13 廣瀬ビルディング4階
TEL:03-6456-1339 FAX:03-6658-4233 E-mail: office@esophagus.jp